

内閣府特命担当大臣（科学技術政策）談話

本年のノーベル生理学・医学賞を、東京工業大学の大隅良典栄誉教授がその優れた御業績により受賞されることとなり、心からの敬意と祝意を表します。

人類への貢献を称えるノーベル賞を日本の研究者が受賞されたことは、日本の研究水準の高さを世界に示すものであり、大きな励みとなるものです。

今回の受賞が、科学技術に対する社会の期待や関心を一層高め、次代を担う若い世代に夢を与えるとともに、新たな課題に積極的に挑戦する契機となり、今後も世界トップレベルの研究成果が生み出されることを期待しています。

政府としても、平成28年度から5か年の科学技術基本計画及び科学技術イノベーション総合戦略の下、科学技術イノベーションの強化に向けて全力で取り組んでいるところであり、このような中、日本の研究者が受賞されることは、大変意義深いものと考えます。今後もこの慶事が続いていくよう、優れた人材の育成・確保やイノベーションの源泉としての学術研究と基礎研究の推進、さらには研究成果の社会への展開促進など、関係府省をリードして進めていきたいと考えております。

大隅良典栄誉教授におかれては、これからも御自身の研究や後進の育成に取り組まれ、我が国及び世界の科学技術の発展に貢献されるようお願い申し上げます。

平成28年10月3日
内閣府特命担当大臣（科学技術政策）
鶴 保 庸 介